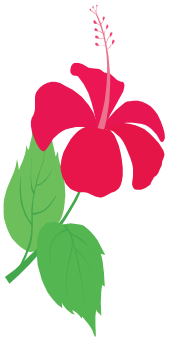


季刊はないく

- 1 発刊にあたって
- 2 ごあいさつ
- 3 花からみた日本文化と西洋文化
- 4 早春の花き
- 5 花を楽しむには



1 発刊にあたって



愛知名港花き卸売事業協同組合

代表理事 井上 稔

この度、第1号の季刊誌発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

皆様ご承知の通り、2010年3月31日に「愛知名港花き地方卸売市場」がオープンします。念願の本格的な切花を扱う大型市場の誕生です。当市場開場にあたりご尽力頂きました関係者各位に敬意を表しますと共に、今後とも変わらないご支援をよろしくお願い致します。

さて、日本の経済は今まで経験したことの無い不況の真っ只中で消費が低迷し、花が売れずに苦しんでいます。この苦境を脱出し業界が活性化するためには、取引先や一般消費者へ花に関する様々な情報を発信、或いは提供して花の価値や魅力を再認識してもらい、確固たる消費に結びつける必要があります。当市場と致しましても積極的に花の情報発信・提供に取り組んで参ります所存です。

市場が行うべき情報発信・提供には、大きく分けて2つあると考えます。一つには、「この花は、何処の産地でいつ入荷したものか?」という様な生産履歴情報、商品名や規格・等級などの商品情報、過去の相場や取引履歴などの取引情報です。もう一つは、花の楽しみ方や使い方など、花の価値や魅力を高める情報です。一般消費者の方へ花の価値や魅力を高める情報を提供し続けることで、花の需要が創出されます。最近、食育に続き、花育という言葉もよく聞く様になりました。花育は子供向けというイメージが先行しますが、子供だけでなく、家族や友人、近隣の人々等に向けて、花育活動を積極的に推進することで、生活の中に花愛でる潤い生活を定着させ、花の需要拡大へとつなげたいと思います。

当市場としましても、流通の川上である生産者と川下である販売側と手を結び、花育活動を積極的に推進していきたいと思っております。これは中京地区に中核市場と位置づけられた「愛知名港花き地方卸売市場」としての社会的使命でもあると認識しています。

今回発行する季刊誌が、このような役割を果たすことを祈念すると共に発刊のご挨拶に代えさせていただきます。

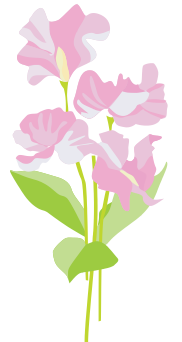




2 ごあいさつ



名古屋市長
河村 たかし



町を歩いていると、花のきれいな庭をたくさん見かけるようになりました。きれいな花を見ていると身心が癒され、リフレッシュされます。

農林水産省が行った「花のある暮らしの最も良いところは？」というアンケートによれば、「心が癒される」「季節感が出る」「家の中が華やぐ」「心が豊かになる」という回答が、全体の8割を占めており、花のある暮らしの心地よさは多くの人が実感しています。

皆さんは、「花育（はないく）」という言葉をお聞きになったことがありますか。

「花育」とは、家庭や学校、地域社会などで食の大切さや食文化を教える「食育」にヒントを得たもので、子どものころから花と緑に親しみ、育てる機会を提供することなどにより、心を豊かにし、集中力や創造力を高め感性豊かな子どもを育てることをめざす活動です。

また、花を介した世代間交流の促進や地域の人々のつながりを深めること、自然を思いやる心を育てることにもなる意義深い取り組みです。

子どもの頃から花や緑にふれ、花のある暮らしが当たり前になっていけば、大人になっても自然に暮らしの中に花を取り入れていくことでしょう。皆さんも気軽に花を飾り、子どもたちに花のある暮らしの心地よさを伝えていただきたいと思います。

この季刊誌は、四季折々その時期の花々の紹介、花を長持ちさせる方法や栽培方法など花を楽しむための方法、洋の東西を問わず花にまつわるちょっといい話など「花育」の参考となる情報を今後も提供していく予定です。

また、間もなく港区船見町に開場いたします花き地方卸売市場におきましても、市民への市場開放、地域との交流を深めるための地域イベントなどを実施することにより、「花育」の推進を図ってまいります。

皆さんには、より一層花に興味を持っていただき、花を普段の生活の中に取り入れて、豊かで潤いある生活を送っていただきたいと思います。



3 花からみた日本文化と西洋文化



愛知名港花き卸売事業協同組合

副理事 林 悦孝

花業界に入って10年を超えました。この世界に入ってもエンジニアとしてものをみる癖は抜けません。化学や繊維系の製造業を除いて大半の製造業は無機化学の世界です。私たちが日々目にする花はもちろん有機物で、しかも生きていますので生命科学の世界です。また、刻一刻その姿を変えていく花の世界はとても不思議に思いました。お花は、生き物であるので、生きている状態で流通させることが大切です。ある時、榭が太陽の光に当たっていて、みるみる褐色に焼けていく様を見ました。まさに生きているから、つまり光により光合成を盛んに行っているのです。光合成はご存知のように、根から吸収された水と、主に葉の裏側にある「気孔」より吸収される二酸化炭素と葉の表面より入射する光のエネルギーにより糖を作り、気孔より酸素と水蒸気を放出する作用です。この際、水蒸気の蒸発による気化熱で葉の温度が下がる訳で、木々の下で夏涼しく感じるのはこの作用によります。戻りますが、榭の葉に光が強く当たっている状態で、葉に水が供給されないと、この水蒸気の蒸散により葉の温度を下げることができないため、光の中でエネルギーの高い、つまり熱い紫外線により焼けるという、人間の日焼けと同じ褐色になるということが起きるのです。私はこのことにより榭は生きているということを実感しました。だから、生きているお花を周りの環境を考えて大切に扱わないといけないことを切に学びました。

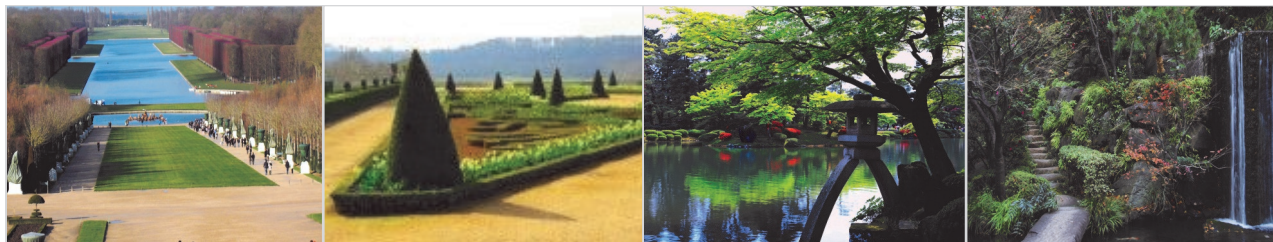
こういった、物事を細かく分けて個々のものの機能を理解していくということは、西洋科学の得意とすることですが、個々のものが個々別々に存在するものではなく、個々のものが他のすべてと関係し合って存在しているという見方は東洋の、日本人のものの見方だと思います。こういった観点でお花を見ていくと、西洋のアレンジというものと日本の生け花というものが全く違うセンスから生まれていることが見えてきます。

今、花嫁修業としてお花やお茶を習うという習慣はめっきり少なくなっしまい、そのかわりカジュアルフラワーというのでしょうか、アレンジ花といわれるものが流行っているようです。生け花のことをある本で、「時空を生ける」と書いてありました。私はこの言葉が大好きです。時の移ろいとその時その時存在している空間の美しさを愛でるといふ生け花の世界は、まさに花を生き物として扱っていると思えるからです。





日本人の心は八百万の神を根底として、仏様も神様もその仲間のように扱い、いろいろな考えに寛容的であるように思います。西洋では白黒はっきりさせるのが良いことのように思いますが、日本ではグレイゾーンがたくさんあって、これもよし、あれもよしの世界となっていると思います。一方、アレンジ花が中心となっている西洋の花の扱いは、西洋庭園の典型としてのベルサイユ宮殿に見ることができます。そこは幾何学模様を基本とし、その部分部分をお花で埋め尽くす、いわばお花を絵の具のように扱っていて、すべてを色で埋め尽くすという形態となっていて、そこには空きスペースが全く見られない様式になっています。逆に日本の生け花の世界で言われている「時空を生ける」ということの典型は日本庭園で見られます。日本庭園の典型はお寺の境内や、お城や料亭の庭などに見られる造形といえます。木や石が一見まばらに配置されていて、統一感がないようですが、ベルサイユ宮殿とは大きくその模様が異なっていることがわかります。それは、時と空間の調和というか説明できない美しさがそこにはあると思います。すべてのものは移ろい変化するもので一つたりとも他のものとの関係性を無視して存在するものはないという、「般若心経」の世界が展開されているのかもしれませんが。石一つとっても他のものとの関係性の中で、そこに存在している必然性がある訳です。生け花の世界ではそれが特に顕著で、作品を形成している一つひとつの花の美しさよりも、その植物（枝等）が織りなす空間の美、その空間が予感させる時間による変化という動き、その空間を作ったそのもの以外にその空間が切り取った背景、そういったもの全体で形成される「もの全体」に美を感じる日本人。ここに日本人の深い美意識があると思います。



こういったことを勉強させていただいたのは、この花業界に入ったからです。西洋科学万能の科学の世界では理解できなかった日本人の心の豊かさ、美意識の豊かさ、自然を見る人の心のやさしさ、こういったことをこの10年で勉強してきました。本当にお花の世界はすばらしい、特に日本の自然感覚を世界に広げることで、大きく言えば環境破壊もある程度緩和されるのではないのでしょうか。

少々生意気なことも書きましたが、若気のいたりでご容赦のほどお願いします。



4 早春の花き



理事 橋本 誠

「早春の花き」を代表する切花、鉢物、枝物について、次の①～④を中心に説明させていただきます。

1、切花について

I、ストック

アブラナ科マッティオラ属 原産地南ヨーロッパ 耐寒性一年草

- ①売れ筋：一本立ちは、アイアン系品種（ボリュームが有り、花もちが良い）
スプレー、カルテットシリーズ（ピンク系は、濃淡が有り用途広い。）
- ②産地出荷本数：807,000本（平成21年1月～12月松原地区）
- ③県別出荷割合：和歌山県37%、鳥取県28%、新潟県11%、愛知県10%、その他14%
- ④卸売業者から一言

秋冬が入荷の中心となるが、秋口の気候によって出荷量が異なってくるので価格も変動する。一本立ち系は、花にボリュームがあるので需要の中心は業務用である。スプレー系は、花色が豊富で家庭用に向いている。ストックは、全体に需要の幅が広くあり、販売のしがいがある品目である。



ストック

II、チューリップ

ユリ科チューリップ属 原産地イラン、パミール高原などのステップ地帯

- ①売れ筋：クリスマスドリーム（ピンク）は、人気がある。赤はイルデフランス、黄はストロングゴールド、オレンジはバレリーナなどが入荷の中心。
一般的なカップ咲きに加えて八重咲き、ユリ咲き、パーロット咲き、フリル咲きなど特徴ある花形にも人気がある。
- ②産地出荷本数：576,000本（平成21年1月～12月松原地区）
- ③県別出荷割合：新潟県95%、徳島県3%、愛知県2%
- ④卸売業者から一言

春のイメージが強い花材のため、秋～冬の販売は苦勞が多い。年間を通して価格を安定させることが難しい。一般消費者に品目名が認知されているため、販売にとって重要な品目。近年、南半球（ニュージーランド）産の球根を使用した促成栽培で11月からの入荷が増えたため11月～4月上旬までの長い期間、チューリップを楽しめるようになった。



チューリップ

III、スイートピー

マメ科レンリンソウ属 原産地地中海沿岸

- ①売れ筋：各産地で選抜したオリジナル品種があり、人気に分かれる品目。
花姿からあわい優しい感じのピンク系の色が好まれている。
- ②産地出荷本数：1,658,800本（平成21年1月～12月松原地区）
- ③県別出荷割合：岡山県32%、和歌山県29%、広島県16%、宮崎県16%、その他7%
- ④卸売業者から一言

メインの花ではないが、添え花としての役割は大きく必要不可欠な花。産地によって品種の構成が異なるため、集荷販売する楽しみは大きい。雨が3日も続くと畑でつぼみが落ちてしまい出荷量が激減してしまうため、とても販売に苦勞する。



スイートピー

2、鉢物について

I, プリムラ類 (ジュリアン・ポリアンサ・マラコイデス・オブコニカ)
サクラソウ科サクラソウ属 原産地コーカサス

- ①売れ筋：苗物作り物の引合いが非常に強く、色目が豊かなため、各家庭でアレンジしたり、庭に植えたりして使用することが多い。
- ②産地出荷本数：59,428鉢(平成21年1月～12月松原地区)
- ③県別出荷割合：愛知県内50%、県外50%
- ④卸売業者から一言
出荷時期は1月～2月初旬。価格変動が激しいので、細心の注意が必要。



プリムラ



ヒヤシンス

II, ヒヤシンス

ユリ科ヒヤシンス属 原産地ギリシア～トルコ

- ①売れ筋：一般的に売れているものは、3球植えの5寸もの。贈り物への使用は5～10球植えの8寸及び陶器もの。1球植えのものは、非常に販売が難しい。
- ②産地出荷本数：3,691鉢(平成21年1月～12月松原地区)
- ③県別出荷割合：愛知県内86%、県外14%
- ④卸売業者から一言
出荷時期12月中旬～2月末、花が咲いてしまうと価格が下がる。

III, サイネリア (シネラリア)

キク科ペリカリス属 原産地北アフリカ、カナリア諸島

- ①売れ筋：耐寒性の強い、花色の豊かさでは「桂華」が良い。ピアノ発表会や卒業式での使用は、低価格の中輪が多い。
- ②産地出荷本数：16,620鉢(平成21年1月～12月松原地区)
- ③県別出荷割合：愛知県内78%、県外22%
- ④卸売業者から一言
出荷時期は、12月～3月中旬が中心。セリの時に、花の色が分かると良く売れる。



サイネリア

3、枝物について

I, レンギョウ (連翹)

モクセイ科レンギョウ属 原産地中国 落葉性低木広葉樹

- ①売れ筋：ヤマトレンギョウは、上品で多くの人から好まれている。大花で濃い黄色のジャイアントレンギョウ
- ②産地出荷本数：36,435本(平成21年1月～12月松原地区)
- ③県別出荷割合：愛知県内11%、県外89%
- ④卸売業者から一言
3月に入ると量的に増え、価格の維持が難しい。



レンギョウ

II, ロウバイ (蠟梅、蠟梅、臘梅、唐梅)

ロウバイ科ロウバイ属 原産地中国 落葉性低木広葉樹

- ①売れ筋：花卉半透明なソシンロウバイ (素心蠟梅) が、人気である。
- ②産地出荷本数：4,148本(平成21年1月～12月松原地区)
- ③県別出荷割合：愛知県内66%、県外34%
- ④卸売業者から一言
出荷時期は1月中旬～3月初旬。2月になると花桃の販売が中心となり、ロウバイの販売は苦戦する。



ロウバイ

5 花を楽しむには



監事 吉田 博

①花を長持ちさせる方法

I, 水切り

効果：切花全般

方法：バケツなどの大きな容器の水の中で切ります。切る部分の茎が、水から出ないようにします。もし、切り口から空気が入ると、水の吸い上げが悪くなります。

II, 湯揚げ

効果：シャクヤク・かすみ草など

方法：茎の切り口2～3cmを熱湯につけてから、すぐに冷たい水に約30秒～1分間つけます。熱湯につける部分以外は、湯気があたらないよう新聞紙などで巻いて茎の部分が真っ直ぐになるように注意します。冷たい水に直ぐつけることで、良く水を吸い上げます。また、熱湯につけることにより殺菌効果も出ます。

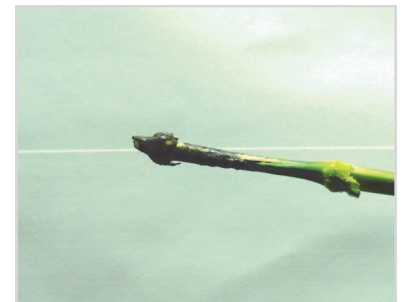


シャクヤク

III, 切り口を焼く

効果：バラなど

方法：最初に、根元以外は濡れた新聞紙等で包んでおきます。次に、ガスコンロやライターなどで切り口を少し焼き殺菌します。焼き終わったらすぐに冷たい水に30分～1時間ほど付けておきます。花瓶に生ける時は、水切りをしてこげた黒い部分を切ります。湯揚げの場合と同じ様に、良く水を吸い上げるようになります。



切り口を焼く

IV, 切り口を叩き、切り込みを入れる

効果：ユデマリ・千両などの軸の硬いもの

方法：根元を木づちなどで叩いて砕き、はさみなどで茎の先端部に十字に切り込みを入れます。アクが出るので、別容器に少しの時間つけて置きます。しばらく待ってから花瓶に生けます。あまり叩き過ぎると細胞が潰れてしまい、逆効果になりますので注意します。これにより硬かった茎が柔らかくなり、水揚げしにくい花でも、水を良く吸い上げます。



切り口を叩く

V, 薬品処理

効果：切花全般

方法：市販の花用活力剤を花瓶に入れて水揚げして栄養を補給します。重曹や漂白剤などを入れて殺菌作用による効果も見込めます。この場合100倍ぐらいの目安で薄め、入れ過ぎには注意します。水は、出来るだけこまめに替え、花に元気がない時は燐系、茎に元気がない時は窒素系を花瓶に入れます。また、市販のスポーツドリンクには、糖分やクエン酸が含まれているので花に延命の効果があります。

VI, 室内温度や湿度の管理

方法：切花は、部屋の涼しい場所に飾る。夏場の場合、クーラーの風は大敵です。直接風を当て続けると葉っぱや花が乾燥し過ぎて枯れ易くなります。冬場は、早く咲きすぎてしまうので出来るだけ暖かい場所は避けてください。

VII, ストレスを溜めさせない

方法：根のはり具合や切花の本数に注意して鉢や花瓶の大きさを決めます。また、花瓶が汚れていることも花にストレスとなるので週に1回は洗剤などで花瓶の中を洗います。

②花を楽しむ方法

花を楽しむ為には、フラワーアレンジメントや生け花教室等に通うのも一つの方法ですが、手軽さから言えば、花のことを色々と調べてみることでないでしょうか！例えば「花言葉」とか「アロマセラピー」、「花の特徴」などを調べることも花を楽しむ手段になると思います。

■花言葉について

私の好きな花言葉

- ・トルコキキョウ「優美・希望・良い語らい・清々しい美しさ」
- ・バラ「私はあなたにふさわしい、内気な恥ずかしさ、輝かしい、愛嬌、新鮮、愛情、無邪気、爽やか」



トルコキキョウ

バラは、古代から繁栄と愛の象徴とされていました。ギリシャ神話では、愛と美の女神「アフロディーテ」が海から誕生した時に、大地がそれと同じぐらい美しいものとして、バラの花を作ったとされている。ギリシャ時代には、ビーナスに結びついて「愛と喜びと美と純潔」を象徴する花とされ、これが花嫁が結婚式にバラの花束を持つ風習につながったとされています。

花言葉とは、植物の花や実等に与えられた象徴的な意味を持つ言葉です。現在使われている花言葉は、ギリシャ・ローマ神話や古くから語り継がれている伝説、聖書等のエピソードから生み出されたものが多いようです。日本には、明治初期に西洋文明とともに主にイギリスの花言葉が持ち込まれたそうです。



バラ

■アロマセラピーについて

アロマセラピーとは、ハーブ等の植物から抽出した精油（エッセンシャルオイル）の香りとその成分で、心と体の不快な状態を良い方向に導く自然療法です。誰もが持っている自然治癒力を高める効果があります。私個人としては、柑橘系（爽やかな気持ちになれる）のものをよく使用します。

オレンジの木からはネロリ（鎮静作用あり）が、葉からはプチグレン（リフレッシュ効果あり）が、そして実からはオレンジの精油を採取することができます。この様にオレンジの木は、アロマセラピーに必要な多くの精油を提供してくれます。

オレンジの精油には、スイートオレンジとビターオレンジがあってそれぞれ分量が違います。例えば、オレンジの皮を手でむいた時、部屋中にその香りが漂いますが、それが精油です。その香りは、まるで地中海の日が差し込んだような暖かで幸せな香りがします。



ラベンダー

<アロマセラピーの効果>

◎心の面では

緊張をほぐし、リラックスさせて、落ち込んだ気分を取り払ってくれます。前向きでエネルギー的な考え方ができるようにしてくれます。

◎体の面では

神経性の胃の不快感を解消します。腸の働きを改善しますので、便秘や下痢の治癒に効果があります。食欲を増進させ、不眠症に役立ちます。



■花の色による効果について

下記に代表的な例を挙げてみましたので、是非試してみてください。



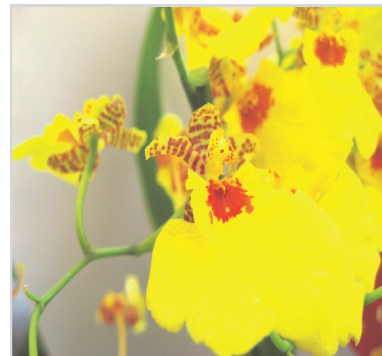
ヒマワリ

落ち込んでいる時、エネルギーを感じさせ晴れやかな気分になさしてくれる。



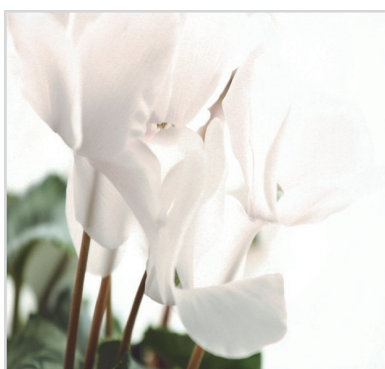
バラ

朝寝覚めが悪い時、情熱やエネルギーをイメージさせ積極性を増進、覚醒する。



オンシジューム

元気を出したい時、酸のバランスを正常にもどし胃腸の働きを良くする。



シクラメン

心も身体も軽くなりたいと思った時に汚れを清めにごった気を浄化する。



トルコキキョウ

精神的に悩んでいる時、気持ちを鎮め心を癒してくれる



スイートピー

忙しくて疲れ気味の時、心と体に安らぎを与えリラックスできる。

■花を楽しむには、普段何気なく生活している中で、ちょっとした花への疑問や興味を調べてみるだけで楽しさへと繋がるのが、分かって頂けましたでしょうか。
皆さんが、花に愛情を持って接することによって弱っていた花も再び輝きを取り戻してくれる筈です。
花も人間と同じく生きているということを忘れないでください。

■お問い合わせ先 愛知名港花き卸売事業協同組合 事務局まで

URL:<http://www.amk.or.jp> E-mail:info@amk.or.jp

新市場開場(2010年3月31日)に伴い事務局が、移転となります。

(3月30日までの連絡先)

〒460-0017 名古屋市中区松原2丁目9番7号 TEL:052-332-8519

(3月31日からの連絡先)

〒455-0027 名古屋市港区船見町34番地の10 TEL:052-747-8700
FAX:052-747-8702

発行:名古屋市市民経済局消費流通課
愛知名港花き卸売事業協同組合

※この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。